

## 第23期 事業報告書

(2021年4月1日～2022年3月31日)

法人の名称 特定非営利活動法人コロンブスアカデミー

はじめに

今年度も昨年度に引き続き、コロナ禍の影響を受けた1年だった。中でもすべての事業にかかわるこども、若者その保護者、関係機関、そして全スタッフの感染対策に配慮し、安心と安全を第一に考えた上で、知恵と工夫を出し合ってイベントや日々の活動の中で「おもしろいをあきらめない」ことにも力を入れた。

### 1 事業の成果

「つなぐ、つなげる、つながる」を意識してすべての事業の活動に取り組んだ。「離れてつながる」に力を入れた昨年度の経験を活かし、リモートでできる会議、イベント、プログラムなどをより充実させた。また、コロナ禍以降、不登校、ひきこもりの相談の中でも10代の相談が増えたため、本人はもちろんその家族も孤立してしまうため、まずはその家族がつながることをより意識した。本人を取り巻く学校、行政、医療関係者や支援者とのケースカンファなどにも積極的に参加した。

今年度も引き続き、子育て期～学齢期～思春期～青年期までの途切れのない継続的な支援を目指して、一つ一つの事業に取り組んだ。

今年度は、地域からの研修の依頼が多くあり、地域ケアプラザや区の社協、民児協など地域で対人新支援をしている支援者の方から「若者支援」についての関心も増えていると実感した。セミナーでは、私たちの取り組みと共に長期化させないためには、「ひとりにさせない、抱え込まない」チーム支援が大切であることを伝えた。それぞれの支援者がそれぞれの強みを出し合い、協力し、つなげていくことが必要で、そのためにお互いの顔の見える関係づくりの大切さも感じた。

家庭環境の変化により、孤食を余儀なくされた子どもたちも増える中、根岸の「250にこまる+プラス」だけでなく、出張子ども食堂@ファームを第三土曜日のランチタイムに開催し、必要とする子どもたちを見守る場所を増やした。

### 2 事業内容

#### 1. 特定非営利活動に係る事業

##### (1) こども・若者とその保護者などに対する相談・支援

###### ①不登校支援

- ・日常的に不登校の電話相談やメール相談の対応を行い、寄せられた相談について法人内のプログラムや他の支援への丁寧なつなぎや対応を行った。
- ・11月と3月には、無料の集中相談会を開催し、セミナーや個別相談をおこなった。
- ・横浜市教育委員会、南部学校教育事務所、地域の中学校・高校との連携を深め、義務教育の間に支援につなげることを意識して取り組んだ。
- ・神奈川県教育委員会主催の不登校相談会に参加し、団体紹介と個別相談の対応をおこなった、後日、来所にもつながった。

日時	月～金 9:00～18:00
場所	横浜市磯子区東町9-9 3階
主な従事者人員	2名
対象者	青少年および保護者、関係者

###### ②よこはま南部ユースプラザ（なんぷら）

- ・相談窓口（電話、インターネット、来所）を開設し、困難を抱える若者やその保護者の第一次的な総合相談を受ける相談室の運営を実施。若者や家族、関係機関からさまざまな相談が寄せられるため、K2グループの中核の相談窓口として重要な役割を果たしていた。

- ・ひきこもり状態からの回復期にある若者の居場所の運営。
- ・よこはま南部ユースプラザとしても活動の年間テーマを今年度は、「つなぐ、つながる、つなげる」～離れてつながる～とした。支援者対象のなんぷら主催の南部地域若者支援連絡会では、本人だけでなく、家族もまた悩み苦しむ孤立するケースが多い中、家族がまず支援者につながる事が問題を長期化させないために必要であり、どんな地域資源があり、どのように活用できるのかを共有することを目的とした。また南部地域の各区で年に1回行うセミナーにおいても同テーマで、当事者の家族を対象に家族の方が支援者につながる事の大切さを知っていただいた。本人も家族も孤立を長期化させないために今からできることを一緒に考えたいということも伝えた。
- ・南部地域の区役所専門相談で区のこども家庭支援課、生活支援課との連携を行った。磯子区役所では、なんぷらの若者たちに社会体験の機会を与えてもらい、会議場の設営や資料の準備などの他に、「いそごのまち美化パートナー制度」に登録し、地域清掃のボランティアを行った。根岸地区センターや磯子地域ケアプラザ、いそご区民活動支援センター等と連携し、地域の社会体験の場所が増えた。
- ・中高生の不登校の相談やケースカンファなどで学校はもちろん、医療、教育相談、児童相談所など関係機関と具体的に連携する機会が多かった。イソカツとの連携で近隣の中学校4校への訪問も行った。
- ・昨年度に引き続きコロナ禍での事業の実施となったが、休館になることはなく、281日開所することができた。まん延防止重点措置の期間はあったが、時間の短縮や人数制限もできるだけ行わず、講座や来所の希望者は可能な限り受け入れを行った。オンラインのプログラムも定着し、来所とオンラインのハイブリッドで行った。オンラインプログラムが出来たことで、多様な参加の仕方ができるようになった。

講座・クラブ活動：ボイストレーニング・PCセミナー・スポーツデー・スタートアッププログラム（オンライン）・無電源系ゲーム・なんぷらアフタヌーンティー・ちがいを楽しむかんたんアート・健康管理について・自分取り扱い講座・UVレジン・横浜美術館プログラム・wii大会・知って得する保険の話・大人の塗り絵・羊毛フェルト・映画観賞会・福祉サービススタディツアー・折り紙講座・クラフト講座・男の座談会・ちょこボラ・サポステってどんなところ？・クレイフラワー講座・ミラクルイングリッシュ（オンライン）・カードゲームクラブ

- ・ボランティア体験・社会体験・就労体験のプログラムの実施。
- ・横浜市南部地域5区の関係機関、区役所との連携及びネットワークづくり  
年間テーマ「つなぐ、つながる、つなげる」

＊南部地域若者支援連絡会（年2回）：

2021年6月21日（月）36団体52名（ハイブリッド）

2022年3月10日（木）26団体37名（ハイブリッド）

＊地域ユースプラザ施設長会議：年4回参加

＊三機関連絡会：年3回参加（うち2回は書面開催）

＊なんぷら保護者交流会：毎月第4土曜日開催 年間参加者延べ84名

- ・区役所における引きこもり等の専門相談、セミナー&相談会

＊専門相談 港南区13件、磯子区5件、金沢区15件、戸塚区14件、栄区4件

＊区役所セミナー&相談会：

11月29日（月） 港南区 来場者 13名

11月11日（木） 戸塚区 来場者 14名

10月29日（金） 金沢区 来場者 14名

11月17日（水） 磯子区 来場者 15名

12月15日（水） 栄区 来場者 10名

開所時間	月曜日～金曜日 11:00～19:00 (居場所・相談室) 土曜日 11:00～19:00 (相談室のみ)
場 所	横浜市磯子区磯子3-4-23 浜田ビル2 階
主な従事者人員	9 名
対象者	横浜市内にお住まいのおおむね15 歳～40 歳未満の若者およびその家族
開所日数	281 日
来所者数	のべ5,748 名
相談実績	面接相談 のべ827 件・電話相談 のべ 724 件・ インターネット相談 のべ131 件 社会／就労体験事業参加者 のべ 3,504 名

- ・戸塚高校定時制の「まちとともに歩む学校づくり懇談会」に参加。計5回。
- ・磯子工業高校定時制職員研修会「若者支援となんぷらの取り組み」1月20日（木）

### ③金沢区寄り添い型生活・学習支援事業（横浜いろは塾）

- ・金沢区内の生活困窮や保護者が精神疾患を有している等の理由により、養育環境に課題がある家庭に育つ小学生・中学生・高校生に対して、学習支援・生活支援・総合的な支援を実施。
- ・昨年度より新たに始まった高校生世代支援は、今年度より学習支援の一部として高校に行っていない子も対象に加わり、進路選択につながる内容や将来の自立につながる内容の講座の開催やリラックスして過ごしたり、タブレットの活用等を学べる居場所を実施。
- ・対象は生活保護を受けている家庭の子どもに加え、昨年度に引き続き児童扶養手当満額支給世帯などへ拡大募集を行い、今年度も学習支援のみ利用する生徒が増えている。そのため、金沢区生活支援課・子ども家庭支援課と連携しながら、見学対応や生徒の受け入れのための情報共有を行い、必要であればケースカンファも実施しながら一人一人に丁寧な支援を行った。
- ・富岡東地域ケアプラザで「出張いろは塾」を開催。毎週火曜日に学習支援を行った。
- ・中学3年生には「神奈川県全県模試」が受けられる模試サポートを8月と12月の2回開催した。各会場で模試を受験後、結果を確認しながら個別進路面談等も行った。
- ・今年度より中学2年生対象の「神奈川県全県模試」が受けられる模試サポートを12月に開催した。中学3年生同様、会場で模試を受験後、結果を確認しながら個別進路面談等も行った。
- ・登録している中学3年生は全員高校進学が決まった。また、不登校でサポートしていた生徒も希望する高校へ合格し、進学することができた。
- ・中学時代に不登校でサポートしていた高校生も2年生や3年生へと進級し、定期的なメンタル・学習サポートを行い、1年間通してほとんど遅刻欠席なく通うことができた。他にも、高校へ進学はできたが、友人関係や学習面で悩んだり、つまづく生徒も多く、高校受験に合格した後も個々のニーズに合わせ、途切れなくサポートを行った。
- ・必要な生徒の保護者へは定期的に連絡し状況確認等を行った。また、生徒本人宛へ手紙やはがきを毎月送りサポートを行った。
- ・建物の老朽化に伴う移転のため3月20日～3月31日まで閉所。

- ・金沢区寄り添い型事業定例会議（全3回）

2021年4月22日、9月9日、2022年2月17日

- ・利用者連絡会（ケースカンファレンス／区・いろは塾）書面での情報共有のみ（全2回）
- ・個別ケースカンファレンス（学校・区・いろは塾） 全1回 2022年2月12日

場所	横浜市金沢区洲崎町2-6 5階
日時	火・水・金 13:00～20:00 木曜日 13:00～18:00

土曜日 11:00～18:00

(出張いろは塾 富岡東地域ケアプラザ 火曜日 18:00～20:00)

主な従事者人員 5名  
対象者 養育環境に課題があり、支援を必要とする  
小学生・中学生・高校生およびその保護者  
開所日数 234日 (2021年4月～2022年3月)  
登録者数 77名  
参加人数 のべ 2,988名

\*移転のため、3月20日～3月31日まで閉所。

#### ④キャッシュフローワーク助成金事業 よこはま型若者ニューディール

- ・休眠預金を活用した「新型コロナウイルス対応緊急支援助成」を受け、前年度に引き続き2022年1月末まで、新型コロナの影響を受け、仕事を失ったり、収入が減ってしまった方に対して、配達やECサイトの運営などの就労の場を提供し、継続的に自立へのトータルサポートを行った。
- ・一人ひとりの力を発揮できるような環境づくりやきめ細やかなサポートに努め、それぞれの次のステップへつなぐことができた。

日時 月～金 9:00～18:00 他  
場所 横浜市磯子区東町9-9 3階  
主な従事者人員 2名  
対象者 新型コロナの影響を受け、仕事を失ったり、収入が減ってしまった方  
参加人数 12名

## (2) 経済的困窮を含めた家庭環境などに課題があり、社会的に困難な状況に置かれた こども・若者の支援

### ①子ども食堂「250にこまる+プラス」

- ・コロナ禍で見えない貧困や環境の変化などに「子ども食堂」という切り口で、**3つの「孤」(孤食、孤独、孤立)の解消**を目指し、**毎週金曜日に会食、お弁当配布・配達、フードパントリー**と形で実施した。
- ・最初に登録をしてもらい、専門の相談スタッフが話を聞くことで、一人一人の状況をしっかりと理解をして、保護者や学校との連携も取れる形で受け入れをおこなった。近隣の小学校、中学校とも連携し、関係機関とのケースカンファレンスにも参加した。
- ・出張子ども食堂で磯子、岡村、金沢八景に赴いて、現地で子ども食堂を開催した。お弁当の配布やフードパントリーに加えて、子ども食堂のサポーターズミーティングを実施。
- ・子ども達も子ども食堂の運営を支えるメンバーとして、「まんぷく新聞」の作成した。
- ・岡村のにこまるソーシャルファームでの野菜の収穫などの農業体験をおこない、食育の場にもなった。また、ファームから地元の野菜を仕入れて、子ども食堂の食材としても活用した。
- ・一時的な支援ではなく、**K2グループ全体の資源や地域の支援機関につないでいくこと、彼らが支援する側から支援される側になる機会にもつなげることを意識して取り組んだ。**
- ・活動を応援してくださる方からの寄付金に支えられ、またフードバンクなどから食材の寄付をいただき、子ども達に還元することができた。
- ・磯子区ふれあい助成金、公益財団法人アイネット地域福祉財団2021年度助成金  
むすびえ・こども食堂基堂、カゴメみらいやさい財団助成金、全国社会福祉協議会 ひとり親家庭等の子どもの食事等支援事業助成事業、一般財団法人若者自立就労支援協会助成金を受け、活動を継続・充実させることができた。

日時	毎週金曜日 17:00～19:00 (相談 15:00～) 全 48 回
場所	にこまる食堂 (横浜市磯子区東町 9 番 9 号)
主な従事者人員	2 名
対象者	小学生・中学生・高校生世代

### (3) こども・若者の自立に関する情報提供

#### ①団体の活動の情報発信

- ・ホームページやブログの定期的な更新作業を行い、より新しい情報の掲載に努めた。
- ・団体の活動内容を広く知ってもらうため、年 2 回 KIAORA を発行し、ホームページでも閲覧できるようにした。また、地域の各活動場所や連携先にも配布、設置を依頼し、活動に興味を持った方に手に取ってもらえるようにした。
- ・KIAORA は最終号となり、今後は web を活用した事業報告や情報発信を強化していく。

日時	ホームページの更新は随時 K I A O R A の発行 2 回
場所	コロンブスアカデミー事務局
主な従事者人員	2 名
対象者	不登校、ひきこもり状態にある青少年とその家族、 地域の関係機関・関係団体など

### (4) 地域で子育てを支える場の提供・運営

#### ①親と子のつどいの広場事業 子育てスポットくすくす

- ・横浜市補助事業として、乳幼児親子が気軽に集える居場所を提供。
- ・親の日常的な悩みや不安を和らげる場、共に育ち合える場として運営をおこなった。
- ・横浜市の新型コロナウイルス感染拡大防止の補助金を使い、掃除用具や衛生用品、場を分けられるようにベビーゲートを購入。またエアコンや空気清浄機の洗浄も行った。定期的な換気も行いながら環境整備にも力を入れた。
- ・感染予防対策を行いながら、8 月・9 月の緊急事態宣言中も開所し、イベントは中止にしたが、いつでも来やすい広場作りを心掛けた。昨年度の補助金で購入したパソコンを使用して、お話し会や座談会もオンライン (Zoom) から参加できるようにした。
- ・親のリフレッシュや用事、きょうだい児の行事、仕事の際に利用できる一時預かりを引き続き実施。新型コロナウイルスの影響で利用が少ない月はあったが、継続して利用する方や仕事復帰に向けての準備のために預ける方もいた。精神疾患の両親の子どもも継続して預かり、両親がリフレッシュや家事ができるようにサポートした。子どもを預かるだけでなく、子どもの成長や家庭内の悩みについて相談できる場にもなっていた。
- ・参加する親子が参加者としてだけでなく、当事者として運営を支える、ママサポーター、ママボランティアとして活躍していた。
- ・活動の様子や今後の予定をホームページ・ブログ・SNS から情報発信を行った。
- ・幼稚園・保育園座談会を年 3 回行い、情報収集ができる場の提供を行った。磯子区の保育・教育コンシェルジュの方にも来ていただいた。1 回は、オンライン (zoom) でも参加できるようにして、なかなか外に出にくい中、家からコンシェルジュの話などを聞くことができよかったですとの話も出た。先輩ママによる幼稚園座談会も 3 回開催し、経験談を聞く機会も作った。
- ・磯子区内では、子育て支援拠点と各広場との「いそごひろば連絡会」を定期的で開催し、主にコロナ禍での子育て支援について情報交換を行った。また、親子を広場で受け入れるにあたって不明な点や不安な点も共有できて広場の運営に活かすことができた。3 月の連絡会・研修会は、zoom での開催となったが、離れていても情報共有や意見交換ができたこと、普段参加できないスタッフも参加できたことがよかった。

- ・同じフロアのぽによ+の小学生が乳幼児の面倒を見たり、夏には広場でのイベント「プチ縁日」でペープサートや絵本の読み聞かせを担当してくれ、遊びに来ていた親子との交流も持てた。小学生の姿を見て、乳幼児をもつ保護者が子どもの成長を思い描くことができていた。ぽによ+との交流が、親子にとって発見や学びの場になっていた。
- ・要保護児童対策地域協議会（地区別関係機関会議）に今年度も参加。年2回の開催で、関係機関とロールプレイや地域での連携の大切さ、必要な場所へつなげていくことが大切なことも学ぶことができた。
- ・地域で気になる親子については、磯子区の保健師だけでなく、中区の保健師とも情報共有など連携を行った。

日時 月曜日～金曜日 10:00～15:00

場所 横浜市磯子区東町9-9

主な従事者人数 4名

開所日数 219日

来所者数 1,487組3,298名（一日平均6.8組15.1名）

一時預かり利用数 108件 計385時間（月平均9件 32.1時間）

連絡会 いそごひろば連絡会 全4回 2021年5月12日（水）・8月4日（水）

2021年11月10日（水）・2022年2月9日（水）※zoom開催

根岸・滝頭・岡村地区子育て支援連絡会 2021年12月8日（水）

Cブロック会議 全3回 2021年6月4日（金）・11月24日（水）※zoom開催

2022年2月4日（金）※zoom開催

広場全体連絡会 全2回 2021年7月30日（金）※zoom開催

2022年3月4日（金）※zoom開催

一時預かり情報交換会 2021年12月3日（金）

要保護児童対策地域協議会（地区別関係機関会議） 2021年5月28日（金）

2021年10月29日（金）

## ②プレ教室ぽっかぽか

- ・就園前の2～3歳児のこども対象のプログラムを実施。スムーズに幼稚園や保育園に移行できることを目的に、「こどもだけで活動する経験」や「家庭ではできない体験」を意識して、プログラムを構成し、事業を進めていった。
- ・新型コロナウイルスの影響で、緊急事態宣言中の9月は開催できなかったが、感染予防対策を行いながら全30回行うことができた。
- ・保護者同士がプログラム終了後も助け合える関係作りを目指して、交流の場を作った。
- ・今年度は、2回の保護者座談会、自宅から参加のzoomでのオンライン交流会・座談会を実施した。9月の開催できなかった期間もオンラインぽっかぽかをzoomで開催。保護者同士のつながりを強め、子育ての不安に寄り添い、トイレトレーニングや友達との関係など、具体的な悩みについて話し合う場にもなっていた。また、ぽっかぽかでの普段の活動の様子も動画や写真で伝え、子どもたち同士の関わりや成長を見てもらうことができた。法人の活動（乳幼児～青年期の途切れのない支援）についても話して、子どもに必要な環境を作ってあげること、保護者が一人で抱え込まないことの重要性、保護者がつながることで子どもを孤立させないことも伝えた。
- ・発達の気になる子には、子どものサポートだけではなく、様子を毎回伝えたり、母親の不安を聞くなど保護者のサポートを丁寧におこなった。
- ・保護者からは、幼稚園就園に向けて情報を得られたこと、家で過ごす時間が増え孤立する中、週1回でも集まれる場所があつてよかったこと、親から離れて同年齢の子ども達同士で楽しむ経験ができたこと、ぽっかぽかを楽しみにするようになり成長を感じられたこと、保護者も誰か

とつながれたことなど、参加してよかったという感想が多く聞かれた。  
今年度も以前、上の子がぼっかぼかに参加した家庭の下のきょうだい児が参加するケースがあった。

開催日時	木曜日	10:00～11:30	全 30 回
主な従事者人数	3 名		
登録人数	11 名		
参加人数（実績）のべ	265 名		

## (5) 地域の子どもの居場所の提供・運営

### ①金沢区青少年地域活動拠点 カナカツ

- ・横浜市の補助事業として、地域の中・高校生世代の青少年が安心して気軽に集う場や様々な体験交流の場を提供する事を目的とし、地域に根付いた活動拠点を運営。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮しながら、1階フリースペース部分では駄菓子販売を行い、子ども達が居心地良く過ごせる場を提供した。感染対策をしながら少人数ずつで、ものづくり講座・カナカツイベントへの参加の促しも行き、体験の場の入り口としても機能した。
- ・フリースペースに来所する子ども達も一緒にイベントの準備をし、当日の運営も行った。青少年交流ステーションかなざわの入居団体が協力、共に地域の子どもの達を見守る体制を整えることができた。
- ・**保護者対象の思春期セミナー**（参加者30名）をオンラインで開催。講師に宮崎豊久氏をお招きし、「思春期の心とSNS」をテーマにお話しいただいた。
- ・社会参加プログラム「中高生ボランティア体験（中高生のべ47名）」「第6回カナカツ美術展（参加者183名）」では近隣の中高生が多く参加してくれた。ボランティア体験では、毎月ボランティアDAYを設け、近隣の施設へ中高生手作りの作品をお届けした。また、美術展では、高校生による運営会議を初めてオンラインを活用し開催。どちらも感染対策をしながら例年とは違った形での開催となった。
- ・イベントでは秋まつり（参加者249名）において、交際交流ラウンジと連携し、協同企画を行うことができた。感染対策のため、展示期間を長く設置して少人数ずつ鑑賞できるよう実施した。
- ・新型コロナウイルスの影響で例年参加している地域のイベントが中止となる等した為、小学生から高校生まで広い世代が安心して利用できるよう、感染対策をしながら少人数制で、スポーツデイ・オープンデイ・自習室・ものづくりワークショップ等も開催した。
- ・近隣の学校や他団体との連携を積極的に図り、小中校長会・民児協での企画案内・南部地域若者支援連絡会への出席も行った。年度を迫うごとに学校関係等地域資源からの連携の体制が得られるようになっていく。
- ・建物の老朽化による移転のため、3月12日～3月28日まで閉所し、移転先で3月29日より再開した。

日時	火曜日～金曜日	15:00～20:00
	土曜日	13:00～17:00
場所	横浜市金沢区洲崎町2-6	
主な従事者人員	3 名	
対象者	地域の中高生世代	
開所日数	231 日	
	(3月12日～3月28日まで移転のため閉所)	
利用人数	8,099 名（青少年6,705名・大人1,394名）	
入居団体連絡会	隔月開催	全6回

2021年4月22日（木）・6月22日（木）・8月26日（木）書面開催  
2021年10月19日（木）・12月23日（木）・2022年2月24日

移転後の開催日時・場所

日時	火曜日・木曜日	15:00～20:00
	土曜日	13:00～18:00
場所	横浜市金沢区谷津町359（すずらん通り商店街内）	

## ②磯子区青少年地域活動拠点 イソカツ

- ・横浜市の補助事業として、地域の中・高校生世代の青少年が安心して気軽に集う場やさまざまな体験交流の場を提供する事を目的とし、地域に根付いた活動拠点を運営。
- ・フリースペースでは居心地のよい空間でそれぞれの過ごし方をする姿が見られた。また、地域の方をボランティア、講師に招き、フリースペースでものづくり講座などのコーナーを設け、子どもたちと交流しながらイベントを開催した。
- ・イソカツ運営委員会（中高生世代メンバー主体の会）では、縁日開催に向けて準備・運営や1月に開催した**第4回イソカツ美術展**の準備を行った。（80名参加）
- ・毎年、開催しているイソカツ美術展は、杉田劇場のギャラリーが使用できなかったため、今回は根岸駅前モンビル6階にて開催。（222名来場）
- ・岡村のにこまるソーシャルファームでの農業体験を実施。6月はじゃがいも掘り、10月はさつまいも掘りを体験した。土に触れる体験はそれぞれに思い出深い体験となったようだ。
- ・新型コロナの影響で、磯子まつり（区民まつり）やいそごこどもまつりが、中止だったため、イソカツを会場に縁日を実施。小さな子どもたちも来てくれたので、イソカツメンバーは縁日の店員となったり、小さなイベントをおこなうなど、迎え入れる側となって活躍していた。
- ・夏休みや春休み期間中を活用し、中高生のボランティア体験（のべ140名参加）を実施した。子育てスポットくすくす、放課後ドラマぼによ+での体験では、小さな子達やスタッフとの交流の中で、保育やイベント補助などを体験することができた。また、直接、施設での体験ができる場が少なかったため、イソカツで作ったものを届けるボランティアを実施した。子育て広場の装飾づくりやケアプラザから高齢者宅に配達されるお弁当につけるメッセージカードや折り紙を作り、受け取った先の施設からはとても喜ばれていた。
- ・思春期世代の子どもを持つ保護者や地域の支援者を対象にイソカツ思春期セミナーをオンラインで開催した。講師の岩室紳也氏に「思春期のこころと性～思春期と新型コロナウイルスの共通点～」をテーマにお話していただき、自分自身の子育てを振り返る機会となったとまたこのようなセミナーを開催してほしいという感想が多く寄せられた。（34名参加）
- ・近隣の中学校や高等学校に訪問し、校長会や専任会、青少年指導員、民児協ではイベントの周知や報告を定期的に行うことができた。また、地域の関係団体との連携を積極的に図り、磯子区館長連絡会、南部地域若者支援連絡会等にも参加。

日時 火曜日・木曜日 15:00～20:00

土曜日 13:00～18:00

場所 横浜市磯子区磯子3丁目4番地23号 浜田ビル2階

主な従事者人員 3名

対象者 地域の中高校生世代、地域の人たち

開所日数 159日（フリースペース開所・活動日）

参加者 青少年計 3,614 人（全体 4,117人）

## (6) 放課後児童健全育成のための学童保育の運営

### ①放課後ドラマ ぼによ+

- ・自主事業として「おもしろい子(個)を育てる」をテーマに、安全確保を目的とした子どもの預かり所ではなく、子ども達が多様な経験、多様な関わりの中で生き抜くための心の免疫力を育むことができるような場を目指して、運営をおこなった。
- ・定期利用の他、一時保育や日曜・祝日・宿泊対応、年中児・年長児の預かり等、多様なニーズに応えることで、保護者も子どもも安心して利用できる環境づくりに努めた
- ・手作りの昼食・夕食・おやつを提供。毎日の食事を通して、準備や片付けの役割や仲間と食卓を囲むことの大切さを伝えている。
- ・8月末に新型コロナウイルスによる2度目の緊急事態宣言があり、小学校がそれぞれの形で分散登校となった。それに合わせて期間中は登所人数を3分の1にすることを決め、登録家庭にご協力いただき、感染対策を行った。
- ・去年に続きモンビルM6のスペースを活用し、密集を避けるための工夫を継続しておこなうとともに、主にエッセンシャルワーカーを対象に**別室を活用しての特別保育を実施**。  
自主事業であることの強みを生かし、保護者に寄り添い支えになるよう現実的な対応に努めた。
- ・夏休みのイベントでは宿泊体験や大人数が集まるイベントはせず、K2グループの施設を活用したファームデイキャンプや、昨年も好評だったYoutuber体験など、少人数規模のイベントを数多く実施し、ぼによらしい子どもたちの夏休みの思い出づくりに取り組んだ。
- ・冬には感染状況が一度落ち着いていたこともあり、数年ぶりにオフラインでクリスマスフェスタを実施。クリスマスの劇やダンスなどの発表をすることができた。
- ・1月には全国的に感染が急拡大し、登録児童の中にも感染者が徐々に始まった。感染者が出たことを受けて、1月19日～21日の3日間、コロナ禍になって始めて閉所対応とした。その間にスタッフは全員PCR検査を実施、保健所や小学校にも状況は報告共有を密にしながら、働くスタッフの精神的なケアにも配慮した。
- ・来年度の入所児童は15名で、去年度と比べて4名増となった。
- ・今年度から情報共有ツールとしてのSlackの運用を開始。ZOOMでのオンライン保護者会や面談とともに、時代に合わせたITツールの活用も継続して推進していった。

日時	終日(必要に応じて対応)
場所	横浜市磯子区東町9-9 2階、他
主な従事者人員	6名
対象者	横浜市内の年中児～小学生
開所日数	288日
登録人数	84名
登所人数	のべ8320名
ぼによ塾	ピアノ 登録12名・のべ360名(60回実施) 英会話 登録14名・のべ490名(122回実施) 卓球 登録14名・のべ532名(76回実施) ロボット・プログラミング登録17名 のべ510名(90回実施)
登録児童の所属学校	根岸小 55名・間門小 7名・杉田小 2名・浜小 3名 立野小 2名・国大附属小 2名・滝頭小 4名・岡村小 1名 山王台小 2名・磯子小 3名・港南台ひの特別支援学校 1名

<2021年度 主な行事> ※大きな行事や行政との連携を中心に記載。

2021年

- 4月 1日 (木) K2春のスタートデー (入社式・ぽによ+入会式)
- 4月 3日 (土)・4月 9日 (金) カナカツ10周年イベント
- 4月 14日 (水) 磯子区館長連絡会 (社会教育コーナー) 参加  
横浜総合高等学校訪問・ミーティング
- 4月 15日 (木) 戸塚高校定時制2年・3年合同ガイダンス (事業説明)
- 4月 21日 (水) コロンブス事務局 MT
- 4月 22日 (木) 金沢区寄り添い型生活・学習支援連絡会
- 5月 10日 (月) 横浜磯子ロータリークラブ 寄付贈呈式
- 5月 17日 (月) 岡村中学校 訪問
- 5月 18日 (火) 森中学校 訪問  
イソカツ 民生委員・児童委員協議会 出席
- 5月 19日 (水) 根岸中学校 訪問
- 5月 20日 (木) 磯子区自立支援協議会政審部会連絡会 参加
- 5月 24日 (月) 汐見台中学校 訪問
- 5月 29日 (土) ぽによ+夏休み説明会
- 6月 5日 (土) ファーム ジャがいも掘りイベント
- 6月 11日 (金) 第40回理事会 開催
- 6月 16日 (水) いろは塾 T 中学校ケース会議
- 6月 17日 (木) 金沢区寄り添い型生活・学習支援連絡会
- 6月 21日 (月) 第34回総会 開催  
南部地域若者支援連絡会 開催
- 6月 23日 (水) 磯子区生活支援課セーフティーネット会議 出席
- 6月 24日 (木) 横浜総合高校校長訪問
- 6月 25日 (金) 磯子区子ども家庭支援課・SC・SSW 連絡会 参加
- 6月 26日 (土) カナカツ思春期セミナー (zoom 開催)
- 6月 29日 (火) 磯子区自立支援協議会 (zoom 開催)
- 7月 3日 (土) イソカツ思春期セミナー (zoom 開催)
- 7月 9日 (金) いろは塾 N 中学校ケース会議
- 7月 12日 (月) S 中学校ケース 横浜市大病院にてケース会議
- 7月 15日 (木) 磯子区発達障害児・者地域支援ネットワーク連絡会 (はっちネット) 参加
- 7月 30日 (金) いろは塾 子ども食堂体験
- 8月 11日 (水) 磯子区館長連絡会 (久良岐能舞台) 参加
- 8月 19日 (木) なんぷら経理ヒアリング
- 8月 20日 (金) いろは塾 高校生世代支援講座「高校卒業後の進路について」
- 8月 25日 (水) いろは塾 高校生世代支援講座「どうして働くのだろう？」
- 8月 27日 (金) 戸塚高校定時制「まち」と共に歩む学校づくり懇談会準備会議 出席
- 9月 1日 (水) コロンブス事務局ミーティング
- 9月 2日 (木) 磯子区NPO 連絡会 参加  
地域活動拠点事業推進会議 (zoom 開催) 参加
- 9月 4日 (土) 県教委主催 不登校相談会・進路情報説明会
- 9月 9日 (木) いろは塾・金沢区との定例会議
- 9月 16日 (木) はっちネット 参加
- 9月 18日 (土) 鎌倉市保護者交流会 講師
- 9月 28日 (火) どこでも講座 港南区民児協定例会 講師
- 9月 28日 (火) ~10月 2日 (火) 第6回カナカツ秋の美術展
- 10月 6日 (水) 磯子区館長連絡会 (杉田劇場) 参加  
汐見台中学校 訪問

- 10月 8日 (金) 戸塚高校定時制まち懇 準備会議 出席
- 10月 20日 (水) 磯子区寄り添い型生活支援事業いそびば訪問・見学
- 11月 5日 (金) はっちネット講演会 参加
- 11月 10日 (水) はっちネット 参加
- 11月 11日 (木) 戸塚区セミナー 開催
- 11月 12日 (金) N 中学校ケース会議
- 11月 17日 (水) 磯子区セミナー 開催
- 11月 19日 (金) 臨時総会 開催
- 11月 20日 (土) 集中相談会 開催  
どこでも講座本郷第3地区民児協研修会 講師  
ぽによ+保護者会 (zoom 開催)
- 11月 26日 (金) 戸塚高校定時制まち懇 準備会議 出席
- 11月 27日 (土) ぽによ+入会説明会
- 11月 29日 (月) 港南区セミナー 開催
- 12月 1日 (水) 磯子区館長連絡会 (磯子区青少年の地域活動拠点イソカツ)
- 12月 4日 (土) 日限連自治会日限地区地域保健福祉計画障害児・者グループ研修会 講師
- 12月 8日 (水) 地域活動拠点事業推進会議 参加
- 12月 19日 (日) クリスマスフェスタ
- 12月 24日 (金) 戸塚高校定時制まち懇 準備会議 出席
- 12月 25日 (土) いろは塾 クリスマスパティー

## 2022年

- 1月 8日 (土) イソカツ版画ワークショップ
- 1月 14日 (金) 磯子区生活支援課セーフティネット会議 出席
- 1月 18日 (火) ~22日 (土) 第4回イソカツ美術展
- 1月 20日 (木) はっちネット 参加  
磯子工業高校定時制教諭 研修会 講師
- 1月 21日 (金) 第41回理事会  
横浜総合高校ケース会議
- 1月 22日 (土) 鎌倉市保護者セミナー 講師
- 1月 26日 (水) 地域活動拠点・活動報告会 (zoom 開催)
- 1月 28日 (金) 戸塚高校定時制まち懇 準備会議 出席
- 2月 4日 (金) 戸塚高校定時制まち懇サポーター顔合わせ会議 出席
- 2月 9日 (水) 磯子区自立支援協議会 参加
- 2月 12日 (土) 相談員研修
- 2月 14日 (月) 戸塚区生活困窮者自立支援制度セーフティネット会議 出席
- 2月 16日 (水) 港南区役所こども家庭支援課スキルアップ研修会 講師
- 2月 17日 (木) 金沢区寄り添い型生活・学習支援連絡会
- 2月 18日 (金) 戸塚高校定時制まち懇 準備会議 出席
- 2月 22日 (火) コロンブス事務局ミーティング
- 2月 25日 (金) いろは塾 高校生世代支援講座「自分取り扱い講座」  
戸塚高校定時制「まち」と共に歩む学校づくり懇話会 参加
- 3月 2日 (水) カナカツ次年度事業計画ヒアリング
- 3月 3日 (木) 横浜市子どもの貧困対策に関する計画推進会議 出席
- 3月 4日 (金) ぽによ+修了式「きらきらぽによパーティー」  
戸塚高校定時制学校運営協議会準備委員会 出席
- 3月 5日 (土) 集中相談会 開催  
いろは塾 高校生世代支援講座「カナカツ社会体験」
- 3月 9日 (水) イソカツ事業計画ヒアリング

- 3月10日(木) 南部地域若者支援連絡会 開催
- 3月12日(土) ぽにょ+オンライン保護者会、新入生歓迎会
- 3月12日(土) ~3月28日(月) 移転のため カナカツ閉所
- 3月17日(木) はっちネット 参加
- 3月19日(土) カナカツワークショップ
- 3月23日(水) 磯子区NPO連絡会 参加
- 3月29日(火) N中学校ケース会議  
カナカツ移転先の内覧会&開所
- 3月20日(日) ~3月31日(木) 移転のため いろは塾閉所
- 3月24日(木) ~31日(木) イソカツ 磯子区民ホールギャラリー展示

### <2021年度 助成実績>

- \*横浜市地域ユースプラザ事業(よこはま南部ユースプラザ)
- \*横浜市青少年の地域活動拠点づくり事業 金沢区青少年の地域活動拠点(カナカツ)
- \*横浜市青少年の地域活動拠点づくり事業 磯子区青少年の地域活動拠点(イソカツ)
- \*横浜市親と子のつどいの広場事業(子育てスポットくすくす)
- \*金沢区寄り添い型生活・学習支援事業(横浜いろは塾)
- \*若者おうえん基金新型コロナ緊急助成金
- \*磯子区ふれあい助成金
- \*公益財団法人アイネット地域福祉財団 2021年度助成金
- \*むすびえ・こども食堂基金
- \*カゴメみらいやさい財団助成金
- \*新型コロナウイルス対応緊急支援助成 地域課題の解決を目指した中間的就労支援事業  
~キャッシュフローワーク手法による若者支援~
- \*全国社会福祉協議会 ひとり親家庭等の子どもの食事等支援事業助成事業
- \*一般財団法人若者自立就労支援協会助成金